

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こいのぼり		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 2日		2026年 3月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに寄り添った空間づくり	デイで貸出をしている道具などに、それぞれに番号や絵のマークを貼って、片付けの際に子どもたちがわかりやすいよう工夫をしている。 体調不良の児童や、一人で落ち着きたい児童などが安心して過ごせる個室を用意し、児童の気持ちに寄り添った空間づくりをしている。	少し事業所内の物が増えすぎているので、今後は必要なものを絞って追加したり、今あるものの断捨離をして清潔な環境づくりをしていきたい。
2	保護者や学校との連携	毎日登下校時刻の共有をして送迎をスムーズに回せるよう工夫したり、家・学校・デイの様子をそれぞれ情報共有して、児童一人一人に合った支援につなげている。 特に不登校気味の児童の場合は、児童が継続して登校できるように連携を強化して支援を行っている。(登校日の調整、出席扱い制度の申請・サポート、学校とデイでの居場所づくり等)	スクリレを活用して、直接学校へ電話連絡をせずスケジュールの管理ができるようにしたい。 不登校児童が1日でも多く学校へ登校できるよう、児童の気持ちに寄り添いながらサポート体制を強化していきたい。
3	活動プログラムの充実	現在、在籍している児童が、体を動かすことの好きな児童が多いため、主に外活動のプログラムを充実させている。 (サッカー、野球、釣り、バドミントン等) その際チームを分けて活動をしてもらうことで、他人との付き合い方・問題解決力・コミュニケーション能力の向上など、楽しみながら成長できる環境を作っている。	外活動でのプログラムは充実しているが、事業所内での活動プログラムが少ない。 今後は職員間で話し合いをしたり、児童からも意見を募りながら少しずつ増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりや、他児童デイ等との関わりがほとんどない	近くの地域でイベントがほとんど開催されていなかったり、他児童デイとも積極的に連絡を取り合っていないため、ほとんど交流ができない状態になっている。	活動プログラムの中で公民館を利用する機会があるので、その際にイベントを企画し、地域の子どもたちや他児童デイの子どもたちと交流できる機会を設けたい。
2	保護者同士の関わりがない	保護者会を開催していないため、保護者同士が接する機会がほとんどない。そのため保護者間での交流がない状態となっている。	年に数回、デイで大きなイベント(クリスマス会やBBQ等)を開催しているので、そのイベントに保護者の参加も可能とし、保護者同士で交流ができるよう調整をしていきたい。
3	外活動プログラムは多いが、事業所内での室内活動プログラムがあまり充実していない	在籍中の児童が、外活動の好きな児童がほとんどのため、外活動プログラムを実施することが多くなっている。そのため、室内での活動が少なく室内活動プログラムの充実ができていない。	室内で過ごすことが好きな児童や、悪天候時のことも考えて、室内で過ごせる活動プログラムを充実させていきたい。